

MJSよりお役立情報（会計大将新機能について）

ご存じですか？

2022年3月より、会計大将で「仕訳コピー」ができるようになりました！

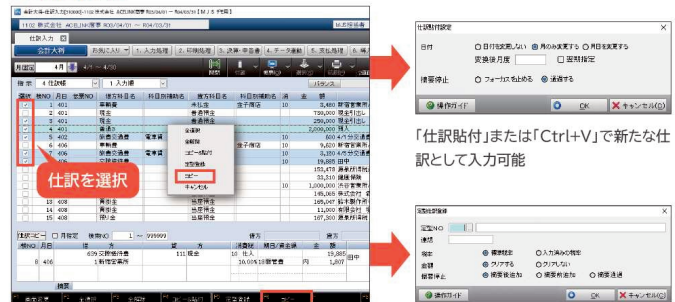
是非活用してみてください！



入力済みの仕訳データをコピーして、別の仕訳や定型仕訳に貼り付けができるようになりました。
これにより仕訳入力の作業を効率的におこなうことができます。

会計大将 仕訳データコピー機能

▼仕訳入力画面



コピーしたい仕訳を選択して「右クリック→コピー」または「Ctrl+C」

「仕訳貼付」または「Ctrl+V」で新たな仕訳として入力可能

コピーした仕訳を定型仕訳として登録することも可能

編集後記

四国ミロク会計人会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日本国内では相変わらず新型コロナウイルスのニュースが後を絶たない状況ですが海外に目をむければ、大谷翔平選手が世界最高峰のMLB米大リーグで二刀流として史上最高の輝きを放っています。毎朝この速報を楽しみに一日のスタートを切る人が老若男女を問わず沢山いると思います。一日も早くこのような話題が日本国内に溢れる事を願い会員皆様のご健康をお祈り申し上げます。

四国ミロク会計人会 広報委員会 委員長 岸上 善宣



へんろ道



四国ミロク会計人会

発行 者： 四国ミロク会計人会
発行責任者： 会 長 木村 幸博
編集責任者： 広報委員長 岸上 善宣
第13号 2022年6月1日発行



写真：瀬戸の夕景 / 撮影：松田 哲也

瀬戸の夕日は絶景です。五色台の展望台より撮影しました。

青と緑の瀬戸内海も日没時を迎えると刻々と変化をしてほんの一瞬ですが瀬戸内の海はオレンジ色に染まります。

令和2年に発生した新型コロナウイルスは、変異を続けながら3年目を向かえ、衰えを見せず第7波が訪れるのではないかとされています。また、ロシアがウクライナに侵攻して2か月が過ぎましたが、先が見えず、毎日のように痛ましい姿がテレビに映し出されています。このような中で、原油の高騰、食料品をはじめとした物価の値上がりなど経済にも大きな影響が出て、中小企業者は厳しい経営状況に陥り、家庭では台所を苦しめられてきています。

暗いニュースが続く中、3月に四国・九州で開花した桜は、5月の連休には北海道と3か月に渡って桜前線が北上を続け、日本全土でいつもと違った形で、桜の満開を見ながら温かさや明るさを感じ取り、楽しいひと時を過ごされたのではないかと思います。

私が住んでいる愛媛県南予地方（9市町）では、平成30年7月に起きた西日本豪雨災害からの復興を願って4月24日に「えひめ南予きずな博」が開幕し、12月25日までの8か月間の予定でいろいろなイベントなどが計画されています。関心のある方は是非足を運んでいただきたいと思います。

最後に、コロナウイルスやウクライナ情勢が早く落ち着きを見せ、日常の平和な生活に戻り、人の動きが活発となり、経済が上向きになることを願ってペンを置きます。



四国ミロク会計会
副会長 正司 哲浩

令和4年度 第1回理事会

去る、4月14日（木）14時より、ミロク情報サービス高松支社研修室において理事会が開催（ハイブリッド形式）されました。審議事項は以下の通りです。

01. 2021年度収支決算について
02. 2022年度収支予算（案）について
03. 第47回定期総会・記念ゴルフについて
04. 令和5年度 定期総会 開催地区及び日程について
05. 広報誌（チャンネル、へんろ道）について



第47回定期総会の案内

下記の通り、開催を予定しております。会員の皆様のご参加をお待ちしております。

- ・日時：2022年7月6日（水）
- ・会場：リーガホテルゼスト高松 2Fエメラルド 香川県高松市古新町9-1

【記念講演会】14：00～15：30

演題：日本の防衛（私見）

講師：高嶋博視氏（元海上自衛隊海将・横須賀地方総監/博海堂株式会社 代表取締役）

【研修会】（予定）15：40～16：00

【定期総会】16：10～17：10

【懇親会】17：20～19：20

アメリカ視察について

米国EA事務所訪問

米国は経済、経営、会計においても、日本を10年ないし20年先行していると考え、私は学生時代のから多分20回以上も訪米していると思いますが、行く度にその思いを確信し、かつ米国の豊かさに驚かされます。資源が豊富、国土が広いだけではありません。社会環境、経済環境が違いますので、今でも核心は分かりませんが、相続税の基礎控除が、1140万ドル（約14億円）というのも大きな要因だと思います。3代相続すると潰れる日本と違って、約14億円の財産が、チマチマした相続対策をせずとも、ドーンと子供に残せる意義は大きいと思います。

昨年10月、本年5月と2度米国ロサンゼルス市内で活躍する、日本人EA（米国の税理士）を訪問しました。同氏は開業15年のキャリアを元に、ラスベガス、シアトル、ハワイ、東京渋谷に営業所を置き、日本人を顧客に米国税務、経営コンサル、輸出、輸入のコンサル及び通訳業を手掛け、”無人の越境ビジネス”とか海外進出支援等の幅広い業務を展開するEAさんです。高校から米国に留学、そのままEAの資格を取り開業したという。ロスではトランスという日本人が多く住む地域のオフィスビルの一室に事務所を構え、各営業所を飛び回る日々のご様子。

私は、米国経済の先進性と豊かさに触れ、また日本と経営環境、税務環境とは異なる米国で活躍する同氏のノウハウに触れることは、日本の若い税理士の方々の見識を広め意識を高め、将来有能なミロク会計人と育てて頂けるものと信じます。

会員の皆様には、来期に予定しているこのEAさんの事務所訪問の企画に、未来の大器をご推薦頂けますようお願い致します。

木村 幸博

<入居事務所ビル外観>



<米国EAと>

